

令和元年度第1回

長洲町

総合教育会議記録

令和元年度第1回長洲町総合教育会議

○日 時

令和元年6月24日(月) 午前10時00分～午前11時20分

○場 所

長洲町役場3階大会議室

○委 員 (5名)

町 長	中 逸 博 光	教 育 長	戸 越 政 幸
教 育 委 員	坂 本 裕 文	教 育 委 員	隈 部 壽 明
教 育 委 員	田 中 伏 美		

○欠 席 者 (1名)

教 育 委 員 徳 田 美 津 子

○アドバイザー (4名)

長洲町駐在員会長	玉ノ木 龍 兒	長洲町PTA連合会長	横 尾 剛
荒尾警察署生活安全課長	龍 寿 充	荒尾警察署交通課長	河 田 一 起

○事 務 局 (5名)

副 町 長	平 川 一 喜	総 務 課 長	濱 村 満 成
総務課長補佐	石 本 り か	総 務 課 担 当	五十嵐 史 紘
総 務 課 担 当	甲 田 結 香		

○教 育 委 員 会 (4名)

学校教育課長	松 林 智 之	学校教育課長補佐	金 森 秀 益
生涯学習課長	藤 井 司	生涯学習課長補佐	荒 木 功

○学 校 (6名)

六栄小学校長	城 祐 治	腹赤小学校長	福 田 賢 一
清里小学校長	大 川 隆 嗣	長洲小学校長	甲 斐 裕 一
腹栄中学校長	松 永 光 親	長洲中学校長	中 山 直 幸

○説 明 補 助 (5名)

子育て支援課長補佐	林 田 久 代	まちづくり課長	田 成 修 一
福祉保健介護課長	宮 本 孝 規	建 設 課 長	城 戸 主 税
総務課防災交通係長	川 島 武		

議事次第

1 開会

2 主催者挨拶

3 協議・調整事項

子どもたちの安全確保について

○町長部局の取組・説明（総務課）

○学校、教育委員会の取組・説明（小中学校）

○アドバイザー意見

○意見交換・全体協議

4 その他

令和元年度第2回長洲町総合教育会議について

【司会（石本総務課長補佐）】 皆さん、おはようございます。少しお時間が早いのですが、皆さんおそろいになりましたので、ただいまより、令和元年度第1回長洲町総合教育会議を開会いたします。

それではまず、開会に当たりまして、主催者であります、中逸博光長洲町長よりご挨拶申し上げます。

【中逸町長】 皆様、おはようございます。本日は大変お忙しい中、令和元年度の第1回総合教育会議にご出席を賜り、ありがとうございます。また、委員の皆様や関係者の皆様におかれましては、日ごろより長洲町の教育行政やいろんな町づくりについて、ご理解とご協力を賜っておりますことに対しまして、改めて御礼申し上げます。ほんとうにありがとうございます。

さて、今年度の初めての総合教育会議は、子どもたちの安全確保について協議をお願いしたいと考えております。

先月、神奈川県川崎市において、スクールバスを待っていた児童と保護者が刃物で襲撃されるという大変痛ましい殺傷事件が発生いたしました。また、滋賀県大津町では、園児たちを巻き込んだ悲惨な交通事故が発生し、このほかにも、子どもたちの生命を脅かす事件、事故が連日、報道されております。幸い、長洲町におきましては、このような大きな事件、事故は発生しておりませんが、昨年度、長洲町においても声かけ事案が発生しましたことを考えますと、私たちの身にも起こり得る身近なものとして捉えなければなりません。学校、保護者、地域、警察、そして行政が連携し、チーム長洲町として体制を整えることで、声かけ事案など、事件、事故を未然に防ぐことを目指し、また、起こってしまった場合にも、迅速な対応で子どもたちを守り抜けるように、協力関係を深めていく必要があると考えております。

本日は、保護者の代表といたしまして、PTA連合会の会長の横尾様、駐在員会会長の玉ノ木様、そして、荒尾警察署生活安全課から龍課長様、交通課から河田課長様にお越しいただいております。皆様から多様なご意見をいただきたいと考えているところでございます。

また、梅雨の季節となりましたので、増水した川や水路に近づかないよう、子どもたちの安全確保のためにも、今一度ご指導いただきますよう、お願い申し上げまして、主催者の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくようお願い申し上げます。

【司会（石本総務課長補佐）】 連絡事項になります。

本日、徳田委員は、所用のため欠席されております。

それでは、開会に当たりまして、今回ご出席いただいておりますアドバイザーの皆様のご紹介をさせていただきます。

P T A連合会会長の横尾剛様です。

【横尾アドバイザー】 よろしくお願いいたします。

【司会（石本総務課長補佐）】 駐在員会会長の玉ノ木龍兒様です。

【玉ノ木アドバイザー】 よろしくお願います。

【司会（石本総務課長補佐）】 荒尾警察署生活安全課課長の龍寿充様です。

【龍アドバイザー】 よろしくお願います。

【司会（石本総務課長補佐）】 荒尾警察署交通課課長の河田一起様です。

【河田アドバイザー】 どうぞよろしくお願います。

【司会（石本総務課長補佐）】 アドバイザーの皆様、本日はよろしくお願いいたします。

また、今回も、町内の小中学校の校長先生にもご出席をいただいております。校長先生方、よろしくお願いいたします。

それでは、早速ですが、本日の次第3にごぞいます協議・調整事項となります。

長洲町総合教育会議運営規約第2条におきまして町長が議長になることとなっておりますので、これからは町長に議事の進行をお願いいたします。

《 3 協議・調整事項 》

【議長（中逸町長）】 改めましてよろしくお願いいたします。

本日は、子どもたちの安全確保について、町と教育委員会から現状と対策を説明させていただき、今後の安全安心な長洲町を作るための対策について、意見交換をさせていただければと考えております。

それではまず、総務課から説明をお願いいたします。

【濱村総務課長】 総務課の濱村と申します。よろしくお願いいたします。

着座にて説明させていただきます。

それでは、総務課から、子どもたちの安全確保に関する取り組みということで、町の取り組みのほうを説明させていただきます。

昨年度の第1回の会議におきましても、見守り及び不審者への対策といたしましてご説明をさせていただいたところでございますけれども、その後、事業がさらに進んでいるものであったり、新たな取り組みの状況につきまして説明をさせていただきたいと思っております。

行政の取り組みといたしまして、総務課の所管では大きく五つの事業のほうを行っております。

一つ目は、防犯灯の整備事業、二つ目は、青色回転灯パトロールカーによるパトロールの実施、三つ目は、防犯カメラの設置管理事業、四つ目は、公用車へのドライブレコーダーの設置事業、五つ目が、各防犯関係団体との連携を図るための協議会の開催でございます。

各事業についてご説明をさせていただきますと、まず、防犯灯整備事業につきましては大きく二つの内容がありまして、一つ目は区への補助金の交付事業であります。通学路であったり、生活道路におけます暗いところを減らしまして、防犯効果を高めるというものでありまして、区が新たに防犯灯を設置する場合は費用の二分の一の補助、既設の防犯灯を従来の蛍光灯型からLEDに交換する場合は四分の三の補助を行っております。

平成30年度におきましては、新規設置が12基、LED灯への交換が81基という形で、各区のほうで事業のほうが進められております。また、区と区の境などで民家が少なく、区による防犯灯の整備が難しい、進まない区間につきましては、町のほうで整備のほうを進めることとしております。

次に、青色回転灯パトロールカーによるパトロールの実施についてですけれども、週に2回、役場職員が子どもたちの下校の時間帯に合わせまして、町内を、特に学校であったり、保育所・幼稚園周辺を重点的にパトロールをする見守り活動を実施しているところであります。また、このほかにも、PTAであったり、ボランティア団体によりまして、この青色回転灯パトロールカーを活用していただいて、見守り活動というのが行われているところでありまして、平成30年度におきましては、6団体のほうで活用していただいて、79回見守りの活動が実施されているという状況でございます。

次に、防犯カメラにつきましては、町内の各所に設置した防犯カメラによりまして、防犯効果を高めるとともに、記録された画像によりまして、行方不明者の捜索であったり、犯罪発生時の情報提供に役立てることを目的としている事業でございます。昨年の6月のこの会議のほうでは、取り組み状況としまして、防犯カメラを36台設置しておりまして増設を検討していますというところで説明をさせていただいております。本日はA3版の

ほうで、防犯カメラとしまして資料のほうを配付させていただいております、2枚目のほうの長洲町の地図の中に丸をつけたところで、設置箇所のほうを示しているところがございます。現在、71台の設置ということで、去年のときから比べまして倍近くというところになっています。済みません、地図のほうでは、記載しておけばよかったんですけども、赤が昨年度ご説明したときについていた部分で、その後追加になった部分がちょっとグレーっぽいんですが、青丸のところが新規で追加されたというところになっておりますのでよろしく願いいたします。

この増設分につきましては、声かけ事案の発生場所等を勘案しまして、また、学校のご協力によりましてPTA等の保護者の方々の意見を取りまとめたいただきましたので、その参考といたしまして、事案が発生した場所の周辺であったり、児童生徒の通学路を重点的に設置したというところがございます。

次に、公用車へのドライブレコーダーの設置事業であります、これが新たな事業となります。ドライブレコーダーにつきましては、自動車運転中に交通事故を起こしたり、また、事故に巻き込まれた場合などに、事故現場を記録することによりまして正確な事故処理であったり、自己防衛の手助けになるというものでありますけれども、町内を移動する公用車へこのドライブレコーダーを設置しまして記録するということが、動く防犯カメラとして安心安全なまちづくりを進めるためにも有益な手段の一つであるということで、昨年度、町議会におきまして議員のほうからも提案がありまして、取り組みのほうを進めているところでございます。

今年度、青色パトロールカー2台のほかに、既存の公用車10台へのドライブレコーダー設置の予算措置を行っております、順次、整備を進めているところでございます。

最後に、各防犯関係団体との連携を図るための協議会開催でありますけれども、長洲町犯罪のない安全安心まちづくり協議会としまして、荒尾警察署のほか、町の教育委員会、社会福祉協議会、PTA連合会、老人クラブ連合会など、20の団体、21名の方々からなる協議会を開いております、防犯体制についての連携を図っております。町内の犯罪情勢であったり、交通事故情勢について情報共有を図りまして、防犯行政について意見交換を行っているところで、今後も継続して続けていくこととしております。

簡単ではありますが、以上で町のほうの取り組みの説明を終わらせていただきます。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

続きまして、小学校の代表としまして城校長先生、中学校の代表としまして松永校長先生からお願いしたいと思います。

城先生よろしくお願ひいたします。

どうぞお座りください。

【城六栄小学校長】 それでは、4小学校を代表して報告させていただきます。

A3の紙で学校における児童生徒の安全対策ということでまとめていただいております。4小学校とも、文言等が多少違いもあるかと思うんですけども、ほとんど同じかなというふうな取り組みをしているかと思ひます。

項目に従って、少しつけ加えをしながらご報告させていただきます。

まず、通学路の危険箇所の把握でございますけれども、まず、教職員、それからPTA、それから見守り隊、合わせて児童自身からの情報を収集しているところでございます。あとあわせて、特に年度始め、1年生が下校するあたりのときには、職員も一緒に歩いて危険箇所がないかどうかというようなところを複数回にわたって確認をしているところでございます。

それから、遠足であるとか、外に出るような機会等がございますけれども、そういうときにも、各地区ごとに下校させていきますときに、職員がついて歩いて、そして自分の目で確認をしているというふうなところでございます。

次に、学校内の安全点検でございます。校舎の内もそうですけれども、校舎の外、グラウンド等についても毎月、安全点検を全ての学校で行っているところでございます。また、点検の箇所、修繕が必要だとかここは危険だというふうなところにつきましては、まず、自分たちでできることは自分でしていきますけれども、予算を立てていただきまして、どうしてもできないところはお願いをするようにというふうなところで、特に子どもの安全に係ることでございますので、お願いをしているようなところでございます。

それから、子どもや保護者等への周知でございますけれども、児童集会や全校集会、ないしは1年生から6年生まで一斉に帰っていくような、子どもたちみんな集まっておりますので、そういう中で子どもたちへのお知らせをしています。それから、PTAのいろいろな会議または各授業参観時の学級懇談会等でお話をしております。あわせて、各学校ともに、安心安全メールというふうなものを導入しておりますので、事案等があった場合については、すぐにメールで一斉送信をかけていく、ないしは、危険が予想される場合は、事案が発生する前についても一斉メール等をするということでございます。あわせて、ゆ

っぴー、県警が導入されておりますけれども、いろんなペーパー等を出す機会には、あわせてこういうふうなところがありますと警察から直接あるんですよというふうなところで、入れてくださいということをお願いしております。

それから、不審者の予防対策につきましてでございますけれども、見守り隊、下校のときには一緒について歩いたり、また、登校のときにも歩いていただきますけれども、特に、下校の時刻等を低学年と高学年で時間が違ったりとかしますので、毎週、下校時刻を何時に帰りますというふうなところで、それぞれにファクスを流させていただいて、または連絡をさせていただいて、見守りをさせていただいているというふうなところなんです。ついて歩いてというふうな場合がございますし、ないしは道の脇に、家の前に立ってというふうにし声かけているところもございます。

あと、各学校とも、年に1回は少なくとも不審者対応の避難訓練を実施しております。火災とか地震とかと合わせて、不審者というふうなものも設けているところです。

それから、子ども110番の家、のぼり旗を準備していただきまして、各校区、お願いをできるところに110番の家をお願いしております。

それから、校内放送ないしは教職員の対応等についてなんですけれども、不審者等が入ったときについて、逆上させたりとかしたらいけませんので、そういうところの事前の確認ないしは職員の対応と、場合場合によって違うんですけれども、毎年毎年少し趣向を変えていながら、訓練をしているところです。

それから、警察関係、地域等との連携でございますけれども、町が生徒指導の連絡協議会あたりで情報交換をしております。また、本校でございますと、見守り隊の方と年に1回でございますけれども、情報交換の場等を設けて、全ての見守りの代表の方なんですけれども、情報交換の場を設けているところでございます。

それから、不審者への対応ですけれども、もちろんですけれども、警察への連絡、保護者への連絡、それから見守り隊への協力要請、それから教育委員会へも連絡になりますね、あと、あわせて、小学校もそうですし中学校ともそうですけれども、4小2中お互いに連絡を取り合いながら、何があった、どんなことがあってる、というふうなことは情報交換共有をしていくように心がけております。

簡単ではございますけれども、以上でございます。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

続きまして、松永腹栄中校長からもよろしく申し上げます。

【松永腹栄中学校長】 おはようございます。まずもって、中学校二校ありますけども、今のところ、交通事故とか大きな声かけ事案とか、もちろん実害もあっておりません。大変、おかげさまで安全に生活ができているかなと思っております。

そこに書いてあるとおりではございますが、学校安全からの3領域ということで、生活安全、これは校内外、それから交通安全、災害安全、こういった視点で学校のほうは実践をしているところですが、今のところ大きな問題はあっておりません。

まず、その表どおりですけれども、通学路の危険箇所の把握。そこに書いてあるとおりですけれども、実はご存じのように、全小中学校、全部どこの学校もそうですけども、こういう年度ごとに学校経営案というのを作成します。この中にいろんな計画が入っていますが、特に、これに関して直結する安全教育全体計画というのがあります。そして、特別活動とか総合的な学習時間とか、当然、保健体育、それからほかの教科、社会科、理科、いろんなこととリンクしながら今の3領域について、子どもたちの力をつける授業というのは日頃からやっております。その他の見えない部分では、学校内ではそんなところを実践しておりますけども、あと、外に向けてはここに書いてあるとおりですけども、その中にもありますように、危険箇所のマーク、通学路の作成、そういったものを載せております。日頃から児童生徒、先生たちの意識、それからPTAのほうにも見える形で作成をして、意識づけをしております。

先ほども、町のほうからも説明がありましたように、防犯カメラの設置マップ、このあたりも利用させていただいております。今年は新たにその地図をこの計画の中に添付しております。

それから、学校内の安全点検ですけども、これは法的にも位置づけてありますので、毎月1回は小中学校全部で、全職員で安全点検をしております。安全点検というものは物理的なものですよね。校内でのけが等につながらないような安全点検は確実にやっております。毎月、同じ目で見ないように、交代をしながらでもやるというシステムをとっているのが多くあるんじゃないかなと思っております。

一つ、これは今後の課題ですけれども、慣れた職員がするよりも、外部の目もたまには入れて危険箇所等もチェックするシステムも今後は作っていかないといけないのかというふうに思っております。

次に、子どもや保護者等への周知。これは、先ほどもありましたように、ほぼ100%安全安心メールを登録していただいておりますので、非常にこれは助かっています。予防的に

も発信できますし、緊急な報告も流すこともできますし、そういったものを利用させていただいております。

それから、長洲中のほうでは、分団生徒会というのがありますけども、小学校では地区児童会っていうんでしょうかね、地区ごとに集まっての情報交換。腹栄中では、各分団の担当の職員を充ててますので、そのあたりからの情報または発信等も実際、実践としてやっております。

次に、不審者の予防対策ですけれども、これももう当たり前ですけれども、不審者対策の訓練を例年、警察のほうからお出でいただいて、ご指導受けながら訓練をしておるところですけども、なかなかここは出入りが現状、あちこちから入って来れますので、ただ町のほうで防犯カメラをつけていただいているので、非常にその点は助かっておりますけれども、このあたり100%シャットアウトというのは非常に厳しい状況がありますので、モニターを見ながらたまには習慣づけてチェックを入れてるところでございます。

次に、警察関係、地域等の連携でございますけれども、これも今ありましたように、青色パトロールですね、保護者のほうも積極的に講習会を開いて、夕方、それぞれ回っていただいているところです。かなりの抑止力になっているんでしょうけれども、今のところ、大きな問題等の報告は受けておりません。

それから、つけ加えてですけれども、腹栄中校区に限ってですけれども、交番の松岡さんにも積極的に朝から夕方から見回りをしていただいておりますので、非常に助かっておりますし、長洲交番のほうもこちらのほうまで朝夕回っていただいているのをよくお見かけします。大変ありがたいことです。

それから、不審者の対応ですけれども、これについても、すぐ連絡報告等が情報交換をしながらいろんな関係団体に、保護者へはさっき言った安全メールでの発信を常にタイムリーに行っているところです。

そういったところで、学校のほうもできる範囲で精いっぱい取り組んでいるところです。報告にかえます。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

それでは次に、アドバイザーの皆さんから、それぞれのお立場でご意見、アドバイス、ご要望など、遠慮なくおっしゃっていただきたいと思います。

それでは、PTA連合会の会長の横尾様と駐在会会長の玉ノ木様からお願いしたいと思いますけれども、まず最初に玉ノ木さんからお願いいたします。

【玉ノ木アドバイザー】 自分のやってることを話すんですか。

【議長（中逸町長）】 はい。何でも結構でございます。それと、ご意見・ご要望があったら何でも言ってください。

【玉ノ木アドバイザー】 意見・要望は、ドライブレコーダーは前だけ設置してあるんですね、総務課長さん。ドライブレコーダーは前だけですか。

【濱村総務課長】 一応、今は前だけとなっております。

【玉ノ木アドバイザー】 私は以前、荒尾の交通安全課長さんのお話では、私は前と後ろにドライブレコーダーをつけてますというお話を聞きました。わかりました。

私は取り組んでいることは、昨年度より、長洲小学校の教頭先生より、下校時間の見守りを15日間、1時間実施してほしいと言われ、それを記録をとって学校に持っていきました。令和元年度も新しく教頭先生が変わられたんですけど、また今年も下校時間の15日間、1時間程度回った記録を提出してくださいと言われました。

それと、私は少年警察ボランティアの理事をやってますけど、片山会長から川崎事件に関連して、登校時間はもちろんですけど、特に、下校時間も、少年警察ボランティアのベストを着用して巡回をやってくれと要望がありました。その巡回したのが、今度は生活安全課のほうに報告してくださいという要望もありましたけど、まだ生活安全課のほうには報告はしていません。

それと、少年警察ボランティアでは、毎月第3金曜日、青パトを借用して、各小学校と中学校を巡回を実施しております。

今のところ、以上です。

【議長（中逸町長）】 それでは、横尾様お願いします。

【横尾アドバイザー】 P T Aを代表しまして、私のほうから話をさせていただきます。

私自身は、仕事の関係もありまして、見守り隊とか朝の子どもたちを見守るということはできないんですけど、何かありましたときは、学校の安心安全メールということが来てくれますので、例えば、ちょっとした防犯みたいなことがあれば、連絡をいただければすごくありがたいというふうに思っております。

あと、防犯カメラについても、新規で結構ついたところもあるんですけども、ついてるわりには、逆にあまり目立たないなという気もするんですよね。やっぱり抑止力という意味で言うと、過大に目立つような形で、逆に横に看板をつけるとか、そういうほうがいいのかなと。目立たずに見るんじゃないかと、そういうことをアピールするのも大切かなとい

うふうに思っております。

今日ちょっと、朝から少し時間があつたので、清里小学校の校区のほうを少し回ってきたんですけど、やはり交差点付近の看板等、止まれとかそういうのが結構古くなってる部分もありますので、そういう点についても、各ところを見回っていただいて、古い部分に関しましては、町で予算が取れる範囲であれば、そこら辺についても新しい看板にかえるとか、そういうのをやっていただければと思います。

あと、スクールゾーンという標識についても、街路樹に隠れとったりして、少し見えなかったりするのがあるので、できれば、路面の舗装とかのところにできればなというふうに思っております。

あとは、交通事故という話をさせていただくと、私は夕方の時間帯に長洲のB&Gあたりを子どもの送迎に行くことがあるんですけど、あそこら辺の奥のほうの企業さんの方だと思んですけど、ものすごいスピードで、多分100キロぐらい出てるんじゃないかなというぐらいのスピードで501のほうに走って来られます。そういうところも、やはり夕方のB&Gあたりに行く人、子どもたちも体育館とかグラウンドのところで走ったり、ボールを投げたりしているところもありますので、そういうことが事故につながらないように、少しでもいいので、スピード違反の点検でも、点検をしなくても、パトカーがあそこに回っておくと少し抑制されるかなということもありますので、そういうことをやっていただけたらと思います。町としても、そういうことが頻繁にあると、町の企業としてもメンツが立たないというふうに思いますので、こういうことも一緒になって、少しスピードが出てるんじゃないかというようなことを企業さんのほうにも言っていただければなというふうに思います。

私のほうからは、以上になります。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

それでは、続きまして、荒尾警察署の生活安全課の龍課長と、交通課の河田課長から、これまでの説明やご意見などを踏まえて、ご意見や実務的なアドバイスなどを伺いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【龍アドバイザー】 それでは、生活安全課のほうから話をしたいと思います。

もう一回自己紹介になりますけども、私、今年4月1日付で生安課長になりました龍と申します。前所属は、熊本市役所のほうに2年派遣されておりましたので、警察活動と離れていた業務だったので、なかなか感を取り戻せないところもありますけど、また、よろ

しくお願いいたします。

あと、日頃から警察活動に対してご理解とご協力を賜っていることをこの場を借りてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

それではまず、長洲町の犯罪情勢について簡単に説明しようと思います。

平成30年中、いわゆる刑法犯認知件数、治安のバロメーターですけれども、昨年42件、前年比でマイナス1件です。内容的には、車上狙いだったり、置き引き、器物損壊、自転車盗等々が発生しております。今年の5月末現在では16件、前年比でプラス2件と推移しています。ただ、昨年が荒尾署管内の認知件数が過去最低の数字でございましたので、ほぼ例年どおりの形で減少しているのかなと思われま。

今回の議題の児童の安全対策ということで、一番気になるところは、毎年声かけ事案のことだと思んですけども、平成30年中荒尾署管内で53件、うち、長洲町発生が12件、その中で児童対象、児童は18歳未満が11件声かけ等がっております。そのうち2件については警告を実施しております。これは、令和元年6月12日現在で、荒尾市29件、うち、長洲町発生が5件、そのうち児童対象が3件の声かけです。うち1件は警告を実施しております。ただ、この警告に関しては、昨年警告したものと同一人物です。同じ高齢者の男性について警告を実施しております。

これ以外にも、生活安全のものとして子どもの安全安心になると、児童虐待も懸案事項になっておりまして、やはり通報件数というのが県内的にもかなり増えてます。年々増加している状況で、昨年、荒尾署管内で約30件の児童相談所に通告をしております。そのうち、長洲町が1事件で当該二人と、今年は1件3名をそれぞれ心理的虐待ということで通告しています。これは、直接、子どもに対して性的虐待だったり身体的虐待があったんじゃないなくて、いわゆるDVですね、子どもの目の前で例えばお父さんがお母さんにわあわあ文句言ったりしたのを見て子どもたちが心理的虐待を受けたということで、今現在、そういう場合でも全て通告をするようにしております。常に児相とも連携をして対応を図っているところです。

いろいろ各学校等、不審者訓練等、あと、パトロール等も回っていただいております。ちょうど川崎事件があった後、通常、大体、地域課いわゆる制服警察官等はもともと夕方の時間等はパトロールをするようにお願いしてたんですけども、それプラス、うちの生活安全課だったり、ほかの刑事課等も、手が空いていれば、旗をつけて警らをしております。そうすると、ボランティアの方や学校の先生たちが立って見守り活動を

されてるのが非常にありがたいことと思います。ただ、実際、川崎事件のことを自分たちの身に考えて、じゃああれを100%防げるかとなると、なかなか難しいのかなと。実際、見守り活動もされていた中で、いきなり刃物を持ってああいうふうにした場合、同じようなときで荒尾署であった場合、防げるかってなると、やっぱりそれは100%防げますよというのはなかなかちょっと難しいのかなというところが正直なところではあります。ただ、長洲町はいっぱい防犯カメラのほうも設置をされています。これだけなかなか実際つけれるところも少ないのかなと思います。先ほど、PTA連合会の横尾会長が言われてましたように、防犯カメラを設置しているというのはアピールするのがすごく大事なかなと。こういうふうにつけているってなれば、そうやって声かけだったり、そういうふうな犯罪を起こす連中もあっこはやばいと、カメラに写ってしまったら証拠が残ってしまうんでやばいと思うので、それはすごくいいアイデアだなと思われま。

あとは、これ、済みません、お願いと言うか、可能かどうかわからないんですけども。先日、また、神奈川県警のほうで警察署の関係のナイフをもって逃げたという案件があり、ちょっといろいろ警察も検察庁もいろいろたたかれていますところがありますけども、ああった場合に、群馬か何かの事件が去年か一昨年あった時点で、そういうふうな危険情報というのは早目にSPI作戦と言って、情報を流して、地域の住民に安全、戸締りをしてくださいということをお願いをするところなんですけども、夜間の場合、夜間に町内で逃げたとか、刃物を持ってうろうろしているとかあった場合に、特に長洲町のほうは防災無線がありますけれども、そういった面、役場に電話してそういう情報を流してくれというのは可能なんでしょうか。

【議長（中逸町長）】 総務課長、ちょっと。

【濱村総務課長】 お答えいたします。

防災行政無線を使うこと自体は可能ですので、あと、その連絡のつけ方ですね。夜間は警備会社のほうに転送になりますので、あとはうちの係と警察署との連絡の方法だけしっかり体制が取ればできると思っています。

【龍アドバイザー】 ありがとうございます。やはり、夕方、あるいは夜間9時、10時ぐらいであっても、そういった緊急事態であれば、翌日流すとなると、かなり何でそんなに遅く流したんだというふうになりかねないので、もし可能であれば、その時間帯を連携させていただいて、情報提供を住民の方に周知できればいいかなと思いますので、その点は今後とも連携をお願いします。

生安からは以上です。

【議長（中逸町長）】 それでは、河田課長、よろしくお願いいたします。

【河田アドバイザー】 あらためましてこんにちは。交通課長を仰せつかっております河田と申します。本日は、私のほかに生徒さんへの交通安全教育であったり、あとは、信号機であったり、標識表示であったり、交通規制の直接の担当をしております係長、タカダと申しますけれども、タカダも参っております。どうぞよろしくお願いいたします。なお、タカダについては、荒尾出身であります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

交通課、本来であれば、私はここに本日出席する予定では最初はなかったんですけども、実は……

【議長（中逸町長）】 どうぞお座りになってください。

【河田アドバイザー】 よろしいですか。済みません。

総合教育会議ということであります。その意図としましては、子どもたちの総合的な安全を確保するための会議であるというふうに頂戴いたしました。東京都の東池袋の事故、町長のご挨拶にもありましたとおり、滋賀県大津市の事故、その他全国で高校生の自転車にぶつかる事故等々、子どもたちの命が危険にさらされる交通事故というのが、特に最近クローズアップされております。防犯と交通安全というのは密接不可分なものであると警察署は考えておりますので、急遽、お願いしまして、私も参った次第であります。

生徒さん、児童さんの交通安全ということで考えてみますと、今、いろいろちょっと報道、熊本でもされておりますけれども、通学路の危険箇所点検ということにクローズアップされております。先ほど小学校、中学校の校長先生からお話いただきました。学校の先生、PTAの方の直接の点検を行っていただいているということで、大変ありがたく思っております。熊本県警としましても、道路管理者さん、本日は建設課の課長様もお声かけをいただいているところでありますけれども、県警としましても、道路管理者であったり、学校の先生、PTAの方、その他ボランティア、関係機関団体の皆様と今、まさに順次、通学路の危険な箇所があるのではないかというお話をいただいたときに、点検を進めているところであります。実は、先日も1カ所長洲町の中でも、ここは危ないのではないかというお話があった箇所について、道路管理者さんも含めて点検をしたところであります。

交通安全施設という点で、ハードの面で、子どもたちを安全から守るということも必要でありますけれども、何億円、何兆円かければ安全なハードの整備ができるかもしれませ

んけれども、現実的には予算というものの縛りがありまして、なかなかうまくできない部分もあるかもしれませんが、我々荒尾警察署としましては、警察でできること、また、道路管理者さんのほうでできること、知恵を現場でお互いに出し合って、完全なものではないにせよ、少しでも、一歩でも前に何かできる、進めることができるのではないかなと考えて点検を進めているところでございます。今後も学校の先生方、ボランティアの皆様、PTAの皆様もぜひご協力をいただきたいなと思っておりますのでございます。

荒尾警察署の管内の事故の情勢については、レジュメに載せていただいております、所属別人身交通事故発生状況という横の表でございますけれども、荒尾と書いていただいているところをごらんいただけますでしょうか。

前年比でゼロないし負傷者はプラス9であります。実は、全国、熊本県ともに人身交通事故というのは年々年々、減少傾向にございます。昨年、平成30年につきましては、警察庁全国でも統計を取り始めて最小値を記録し、また、熊本県を統計を取り始めて最小でありました。しかしながら、荒尾警察署管内、今年は5月の中旬ごろまではずっとプラスでありました。残念なことに、全国、熊本県の減少傾向とは裏腹にプラスで推移をしております。5月の下旬、6月からようやく前年対比でとんとんないしようやくマイナス傾向になりつつあるかなというところまで来ております。非常に予断を許さない状況であります。

また、高校生以下の交通事故発生状況という表もつけていただいておりますけれども。生徒さん、児童さんが交通事故に巻き込まれるという事故ももちろんありますが、皆様ご案内のとおり、熊本市内で、逆に子どもの自転車が高齢の方の命を奪う交通事故が発生をしております。小学生ではまだ体が大きくございませんけれども、中学生になれば体も大きくなって、活動範囲も増え、自転車の速度も出ると思います。被害者はもちろんあってはなりません、自転車は加害者にもなり得るというところであります。

長洲町さん、先日、教育のほうにお伺いしたところ、ヘルメットを寄贈されるというような、予算をとってヘルメットを配布されるというお話を頂戴しました。県内でも先駆けた取り組みではないかなと思います。そういった子どもたちの交通安全意識の高揚を図っていただく取り組みをぜひ今後も継続をいただきたいと思っております。我々、タカダも来ておりますけれども、ハード面だけではなく、子どもたちの交通安全意識の高揚を図るための交通安全教育、これにもしっかり取り組んでいきたいと思っておりますので、交通安全教育いただきたいということがあれば、遠慮なく荒尾警察署のほうまでお電話をいただければ

ばと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますけれども、子どもたちの安全とは、生徒さん児童さんとは若干離れますけれども、冒頭に申しました、東池袋の交通事故、奥さんと子どもさんが亡くなっておられます。そのお父さんの手記がここにございますので、少しご紹介をさせていただきたいと思えます。

交通事故の日は4月19日であります。ごみ収集車と衝突をしたあの事故でございます。

「最愛の妻と娘を同時に失ってから今日まで、なぜこのようなことになってしまったのか訳が分からず、いまだ妻と娘の死と向き合うことができません。当たり前のように一緒に生きていけると思っていた大切な二人を失い、失意の底にいます。必死に生きていた若い女性とたった3年しか生きられなかった命があったんだということを現実的に感じてほしいです。現実的に感じていただければ、運転に不安があることを自覚した上での運転や飲酒運転、あおり運転、運転中の携帯電話の使用などの危険運転をしそうになったときに、亡くなった二人を思い出し、思いとどまってくれるかもしれない。そうすれば、亡くならなくていい人が亡くならず済むかもしれないと思ったのです。それぞれのご家庭で事情があることは重々承知しておりますが、少しでも運転に不安がある人は、車を運転しないという選択肢を考えてほしい。また、周囲の方々も本人に働きかけてほしい。家族の中に運転に不安がある方がいるならば、今一度、家族内で考えてほしい。それが、世の中に広がれば、交通事故による犠牲者を減らせるかもしれない。そうすれば、妻と娘も少しは浮かばれるのではないかと思います」というお父さんの手記をご紹介させていただきました。内容はやや運転免許証の自主返納という内容が含まれておりますけれども、この長洲町、荒尾市から幼い命が奪われる交通事故が1件たりとも出してはいけないと考えております。今後も各種取り組みを荒尾警察署、推進してまいりますので、皆様の引き続きのお力添えをどうかよろしくお願ひしたいと思えます。

交通課から以上です。

【議長（中逸町長）】 河田課長、ありがとうございました。

それでは、委員の皆様からそれぞれご意見等をお聞きしたいと思えますので、まずは坂本委員、何かありましたらお願いいたします。

【坂本委員】 それでは、失礼します。教育委員の坂本です。

今の学校、それからPTAのほうから、そして、地域の駐在員としての話、それから荒尾署のほうから現状等を話していただきましたけれども、その中で、それぞれの団体がそ

それぞれの工夫をされて、努力されて、子どもたちの命を守るという視点から努力されている様子がほんとうにひしひしと伝わってまいりました。特にハード面で町のほうで防犯カメラを相当数、倍増してやっていこうという努力が見られます。そういうハード面からの町全体の整備が少しずつ進んできている。それから、ソフト面から見た場合も、学校のほうで、きめ細かにほんとうに、これ表にあるように、丁寧に子どもたちに伝えていっている、その状況はあるわけですね。しかし、それでもというところが一番大事なところの視点かなと思うんですけれども、それでも起こらないようにするためには、学校の環境、それから校区の環境、町の環境を防犯の視点から見るといった場合に、犯罪が起りにくい校区、犯罪が起りにくい町づくりをするためにはどうしたらいいかというところでのそれぞれのご努力じゃなかったかなと思うんですけれども。それで、ハード面では随分、町の努力もあれだから進んできている。予算面もありますので、非常に厳しいところもある中の努力をされている様子があるんじゃないかなと思います。

特に、交通事故の面からすると、あと一步進んで、通学路の歩道が非常にあったらいいなというところが点々とあるところがあるわけですが、やっぱりそういう歩道の整備というかな、そういうものがちょっと危険なところを見ながら進んでいけばいいかなと思っております。

それから、学校のほうでは、子どもたちが自分たちの命は自分で守るという意識をもっともっと高めてもいいかなと思うところがあります。どうしても周りから、地域の人たちがこうしなさい、ああしなさいと。学校から、自分たちはこうしなさい、ああしなさいじゃなくて、家族それから子ども自体から、自分の命は自分で守るという意識が湧き上がってくる、いわゆる今年、長洲町の教育のほうでコミュニティスクールを進めているんですけども、その一番のテーマは主体性というのが出てきているわけです。子どもたちの主体性をもって、自分たちの命は自分で守るんだというところの意識まで高まってくればいいかなというところがありますので、学校や地域、家庭、その中で子どもたちが主体的に自分たちの命を自分で守るというご指導を子どもたちの行動を見たときにそれでいいかという問いかけを子どもたちにしていただければありがたいかなと思います。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

それでは、隈部委員、よろしく願いいたします。

【隈部委員】 教育委員の隈部です。

各団体で安全対策、非常に努力されていることをありがたく思っております。

二つ質問とそれから一つ要望と言うか、考えないといけない要素があるなというふうに思っています。

まず一つは、学校の今の対策で表にまとめていただいたんですけども、一つ質問はハザードマップを作られていると思いますけども、これがどれだけ周知徹底されてどれだけきちっと最新情報が見直されているかということはとても大事なことだと思いますけれども、その辺はどうされてるのかというのが一つ。

もう一つは、見守り隊について、よくほとんどのところで聞くのが、見守り隊の高齢化。見守り隊はなり手がいないから今後、どうなるかわかりませんみたいなことをよく聞くので、この辺の問題認識と対策についてどう考えられてるかなというまず二つ質問したいと思います。

【議長（中逸町長）】 それでは、学校の今の隈部委員、ハザードマップの周知について何かありますでしょうか。

【城六栄小学校長】 ハザードマップにつきましては、毎年度毎年度、それからいろいろ事があつたときに見直しをしているというふうなところも合わせて、児童会ないしは生徒会、地区児童会とか地区の生徒会、そういうふうな中で周知徹底を行っていつているところかと思えます。それから保護者の方への周知、頻繁にというのなかなかできないんですけれども、そういうことで取り組んでいるところです。

それから、見守り隊の高齢化はもうおっしゃるとおりです。確かに高齢化が進んでいきますけれども、一緒に歩いてというふうなところが難しいならば、それぞれのご自宅のそば、そこに立っていただいて、できるところをしていただくというふうなところでお願いをしているところです。

あわせて、見守り隊も含めてですけれども、保護者の方あたりも、見守り実施中という週に何回かですけれども、車にマグネットを作っていただいて、張っていただいて、そして校区を回っていただいているというふうなところが現状でございます。

【議長（中逸町長）】 隈部委員、いいですか。

【隈部委員】 マップについてはきちんと組織的に計画的にやるということを明確にしておく必要があるなど。それから、見守り隊は、学校の問題というよりも、みんなの町の問題でもありますので、みんなでどうするかきちんと考えることが重要なテーマだなど思っています。

それから一つ要望が、要望と言うか課題は、安全という一つの要素として、今、目がいくのは交通とか犯罪とかそういうことですが、見落とされがちなのはネット犯罪。ネット犯罪も非常に大きな、殺人まで至るわけですが、そこに対する安全対策というのは意外にも欠落しているんじゃないかなというふうに思います。それから、ここに対しても町とか全体皆さんが一緒になって、意識を合わせて、ネット犯罪防止に取り組んでいかないと、学校はそれぞれやっつけらっしゃいますけども、学校だけのこれは問題ではなくて、子どもがどんなにリテラシーが高くなっていようと、大人が、あるいは町がそういう雰囲気がないとダメなので、ここは絶対やっつけられないといけないということで、この中の一つの要素として取り上げるべきものだと思います。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

では続きまして、田中委員、お願いします。

【田中委員】 先日、たまたまちょっと朝、回ったときに、子どもたちが見守り隊とかがいない横断歩道で、班長が横にみんな並ぶのを待って、手を挙げて、はい、右見て、左見て、右見てって言って、ちゃんと声をかけて渡っているのを見かけました。すごくいつもご指導が子どもたちにも届いているなというのと、各要所要所に見守り隊の方がたくさんいらっしゃるって、ほんとうにありがたいことだなとは感じておりました。ただ、去年ちょうど今頃の不審者の情報が出て、あと、長洲中の自転車通学が始まってということで、今ちょうど交通安全とかに対して、不審者に対する機運がすごく高まっているような状態ではあると思うんです。これが、なかなか継続するというのが一番大切なんですけど、毎年、今年も何もなくてよかったねで終わっていくと、どんどん安心のぬるま湯に浸かるといって、そういう状態になってくるので、ぜひ継続するというのは確実にしていただきたい。保護者でもありますので、保護者になかなか届いていない部分が多いんじゃないかなというのがあります。先日もうちの近所なんですけど、建浜の消防小屋の前で、軽トラックが横転、くるっと回ってしまったような事故がありました。あそこすごく事故が多いんですけども、あれが通学の時間じゃなくてよかったなって、巻き込まれた人がいなくてよかったなってというのが感想です。ですので、そういった危険箇所の把握というのはなかなか6校の中では保護者はできてないような気がして。联合会とかでぜひこの交通安全の対策というか、そういう周知みたいなものの議題を年に1回ぐらいは挙げてほしいなというのが一つあります。例えば、あそこの消防小屋をちょっと移してほしいよとか、そう

いう陳情みたいなのを、長洲町なり教育委員会なりに、こちらも把握はしてるんですけど、把握していないようなところをぜひ皆さんで共有したいなと思っております。

以上です。

【議長（中逸町長）】 長洲町としても、あそこは危険箇所としていろんなカラー舗装とか、信号機がなかなかつけられないからという課題もあります。もっともっと、目に焼きついてとまらないとなる、そういうのを工夫していきたいと思います。そこら辺、教育長何かありませんか。

【戸越教育長】 いろんな立場で子どもたちの安全確保、ほんとうにありがたいなというふうに思うところです。決してああいう事件というものが、対岸の火事ではなくて、いつでも我が町でも起こり得るんだということでいろいろ予防策なり、あるいは一旦起きたときにどう対応していくかということ常を常に念頭に置きながら、見守っていかなくちゃならないかなというようなことを思っております。

二点ほど。一つは、やっぱりどんなに小さいだろうが、自分の命は自分で守ると。これをいろんな学校教育の中で、あるいは家庭教育の中で、あるいは地域から見守る中で育てていかなくちゃならないんじゃないかと。危険を予知する能力であったり、危険から回避する能力であったり、いざというときに適切に判断をする、このことをみずからの判断で自分の命を守ることができるという教育が一番大事になります。東北震災の中で、あの津波の中で、大川小学校の先生方と子どもさんたちがたくさん亡くなりましたですね。校庭に集まって行って、判断がおくれてますよね。その中で、こんな裏山があるんですよ。先生の言うことを聞かなかった子どもがあそこに登りよったんです。この人たちが助かっておるんです。それが非常に、学校教育に携わっている人間として、どう判断していかなくちゃならないのか、いまだに明確に私自身の答えはないけど、やっぱり命を守るということは自分の判断でしていかなくちゃならんとやなというようなことですね。ときどきこういうものが話題になったときに、大川小学校のことを本にまとめてありますので、それを見ながら、自分自身の防災意識を高めて、常にフレッシュな状況の中での自分を作っていかななくてはならないなということを思っているところです。

もう一点目は、見守り隊の話が出てきておりますけども、1万6,000人の地域住民の意識がもっともっと一人一人高まって、みんなで見守っていく目、守っていく行動力をいろんな機会をとおして啓発していかなくちゃならない。当然、役場の職員、学校関係者、PTA、あるいは見守り隊に登録されている人、その一部分じゃなくて、その他大勢の地域

住民がそういう防犯意識を高めていく。どうしたら高めていけるのかということを考えていきながら、一つ一つ手を打っていかなくちゃならないかなというふうに思ってます。私もいろんな団体の会合に出てご挨拶する機会がありますので、集まれた会合とは全く趣旨が別として、このことを一言ずつでもそうやってご協力をお願いしていくと、今いってると。そんなことを思いながら、皆様方のお話を聞いておりました。どうぞよろしく願いいいたします。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

それでは、ここまでのご意見を踏まえて、全体協議として意見交換を行いと思います。遠慮なくいろんな忌憚のないご意見を言っていただければありがたいなと思います。どなたでも構いませんので、あったら何か願いいいたします。委員の皆様でもどなたでも、今日ご出席の方、結構でございますので。

玉ノ木委員、お願いします。

【玉ノ木アドバイザー】 青パトを運転する場合、回転灯を回すときは講習を受けないといけないんですね。あれ、有効期限が3年と聞いたんですけど、近いうちに更新なんかはできるんですかね。

【議長（中逸町長）】 総務課長。

【濱村総務課長】 では、私のほうから。

各種団体等がそれぞれ固まって講習とかを受けられたりしてるので、近い方とかいらっしやると思います。結構、団体ごとに講習の開催依頼等がありまして、それを警察署のほうに願いいたしまして、日程のほうを調整いたしまして、講習のほうはしているときもありますので、数がある程度集まらない分であれば、そのときに町のほうにまず依頼していただくか、個別のときもお話を聞いておけば、ほかの団体がされるときに一緒にご案内したいと思いますので、よろしく願いいいたします。

【玉ノ木アドバイザー】 予定は今年はないんですか。青少年育成町民会議の団体さんなんか、講習の依頼は。

【川島総務課防災交通係長】 そちらの団体からは申請が出ていませんが、小中学校でまだあっていないところは確認しないとわからないところですけども、小中学校等でまだ行われていないところ、あるいはこれから予定がある団体のスケジュールがありましたら、それを玉ノ木会長様のほうにご連絡するという形をとりたいと思います。

【玉ノ木アドバイザー】 3年でできるから、もう運転ができないのかなと思って。

【濱村総務課長】 そうなる前にご連絡を差し上げようと思いますので。

【玉ノ木アドバイザー】 もし講習があれば受けますのでお願いします。

【濱村総務課長】 はい、わかりました。では、こちらのほうからご通知差し上げようと思います。

【戸越教育長】 質問いいですか。青パトで、スピーカーで放送しながら回るということとはできるんですか。例えば、防犯パトロール、ただいま防犯パトロール中ですか。

【玉ノ木アドバイザー】 無線機はついとるね。

【議長（中逸町長）】 どうぞ。河田課長どうぞ。

【河田アドバイザー】 交通課から申し上げます。許可を取っていただけていただければ可能です。結論はですね。道路使用許可でマイク広報というものを取ることができます。それは、青パトであれば、通常であれば道路使用許可、証紙が2,400円いりませんが、それが免除になります、青パトであれば。市役所、役場の青パトも毎月出しているところでありますので、それを出していただければ、マイク広報が可能になります。

【戸越教育長】 ただ回るよりも、今、防犯パトロール中です、気をつけていってくださいとか何かそがんとこで、広報しながら回ったほうが効果があるごた気がする。

【玉ノ木アドバイザー】 車には何ちゅうか、マイクと無線機が設置してあるちゅうからですね。触ったことないですもん。

【田中委員】 危ないことがあったら言えるようにはなってるんですよ。ただ、なかなか保護者、二人一緒に乗るとかないとね、運転は。

【玉ノ木アドバイザー】 道路使用許可証を提出せにやいかんとね。許可証を。

【田中委員】 テープに入れてくれば流しやすい。テープを準備していただけると流しやすいと言えば流しやすい。というか、自分で言えっていうと、なかなか言葉が。

【議長（中逸町長）】 では、その辺は、テープの作成については、総務課のほうで検討させてください。そしたら、流しながら行けば、今、教育長が言われたように、二重も三重も効果があるんじゃないかなと。

【戸越教育長】 周知がしやすいんじゃないかと。

【議長（中逸町長）】 免許更新というか、講習については、もう少し、やっぱり定期的に数値を出せるようなシステムを作っていけばいいかと思いますので、登録者と団体は総務課のほうで把握してますので、その方々にいよいよ期限が迫ってますというのを出さ

せていただくことによって、意識もまた変わってくるんじゃないかと思います。人も増えてくるんじゃないかなと思いますので、その辺、今日のご意見をお聞きして、検討してみたいと思います。

そのほか、先生方、何か。

【松永腹栄中学校長】 今の関連の話ですけど。単Pで毎年1回青パト講習会はしてるんです。だから、その案内を広げれば、それぞれの団体に何回も警察の方も、町に何回も行くよりも。というのが、たまたま、青パト講習会を、先日、済みません、急遽ですけども、腹栄中校区としてしたんですよ。それぞれ単Pだと少ないので、腹栄中を会場に六栄小と腹赤小のPTAが全部うちに集まって、だから3回行かずに警察の方は1回でよかったというような。そこに地域のそういった方も呼びすれば、見守り隊ができたかな。

【議長（中逸町長）】 わかりました。今、松永校長からご意見が出ましたので、今後はそれを総務課と打ち合わせしながら、教育委員会と打ち合わせをしながらですね。

【松永腹栄中学校長】 一応、PTAの年間計画の中に入れてありますので、そこをお知らせするという事です。

【議長（中逸町長）】 そういうふうにちょっとさせていただこうと思いますので。そうしたら、1回で済みますし。

どうぞ。

【横尾アドバイザー】 昨年度は単Pでやってたんですけど、去年度からある程度まとめてやるということがありましたので。腹栄中の校区で。本年度は、清里も長洲中也合わせてしたんですが、ちょっと、長洲小学校さんたちは日程が合わなかったもので、別にさせていただきます。

【議長（中逸町長）】 できるだけ、PTAとか中学校校区とか。

【横尾アドバイザー】 なるべく一緒にやればなというふうに思っております。

【議長（中逸町長）】 その辺は学校教育課長、よろしく願いしときます。

はい、どうぞ。

【戸越教育長】 先ほど、住民の意識の高まりが大事だと言うのを。先日、有明新聞さんにも載ってましたけれど、ながら見守り。要するに、買い物に行きながらだとか、散歩をしながら、ジョギングをしながらとか、そういうふうにして、住民が見守ってる。大事だよなというようなことを。何かそういうようなものがいろんなところで啓発していかれないかということをやちょっとつけ加えたいと思います。

【議長（中逸町長）】 何でも結構でございます。ありませんか。警察のほうから何かご要望とか。

【龍アドバイザー】 先ほど、ネット犯罪なり、そっちの話がありましたけども、要望があれば、うちのほうから、この前も対象行事のほうには情報モラルの関係で講話にも行っておりますし、できれば親御さんとかに対して講話もできればなと思っております。というのが、結局、子どもさんのほうが多分スマホの使い方も詳しくなると思うんですけど、親になるともうわからんけん、もう子の言うとおりになって、結局、フィルタリングとかも外したりとか、そういうことがあるので。今年、県警の少年課のほうで、大人のためのスマホ何とかの教科書っていうのを作ってるんですね。そういうのを活用して、講話等できれば、うちの署もご協力はしますので、なるべくなら子どもさんだけじゃなくて、親御さんが集まること。たしか、以前、阿蘇警察署にいたときには、うちの署だったかな、大体7月ぐらいの保護者会とかそういうときに行かせてもらって講話したことはあります。今で、高校生はほぼ100%、中学生でも多分七、八割ぐらいスマホを持ってるかと思うんですね。小学生でもかなりの。持ってなくても家で使える状況があるとかになれば、それをまだ持たせないようにするっていうのは今の時代にそぐわないのかなと。ということは、道具としてはすばらしい道具ではあるので、あとはやり方、方法、そういうのを正しく教育していく必要があると思うので、それは子どもさんだけでなく、それを管理する親に対しても意識を高く持ってもらいたいのので、もしそういうご要望があれば、荒尾署のほうまで要望書というか、依頼書を出していただければ、講話のほうは対応したいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

河田課長にちょっとお聞きしたいんですけど、荒尾署管内で、高齢者の交通事故を加害者の方ですね、年齢別的に高齢者も結構多いんでしょうか。

【河田アドバイザー】 そのとおりです。ちょっと具体的な数字は本日は持ち合わせておりませんが、やはりご高齢の方が、第一当事者と我々は呼んでおりますけども、第一当事者となる交通事故も多いですし、ご高齢の方がけがをされる、第一当事者、第二当事者関係なく、けがをされる交通事故というのも年々増えつつあるというような認識で結構かと思えます。

また、ご案内のとおり、当署管内でも、アクセルとブレーキの踏み間違いによる交通事故、年によってあつたりなかつたりはするんですけども、先日も某薬局の壁にアクセル

とブレーキを駐車する際に踏み間違えて、ごんと壁に衝突して、壁が壊れたと。幸い、運転手の方、ご高齢の方、もしくは店内の方にけが人はいませんでしたけれども、そういった踏み間違いの事故というのも身近に発生をしているところであります。

【議長（中逸町長）】 長洲町も免許返納ということで、返納された方にいろんな制度を、きんぎょタクシーの優待券とかをやっているんですが、今後、どうなんでしょうか、我々行政側として、免許返納というのを進めていったほうがいいんでしょうか。

【河田アドバイザー】 おっしゃっていただくとおり、自主返納の推奨というのは、我々警察も大きな課題でありますし、今後ますます進めていかなければならないというふうに思っております。

長洲町さんについては、きんぎょタクシーの無料乗車券というのを自主返納いただいた方に配布していただいていると。しかしながら、荒尾市さんは今のところ、そういった特典がない。これは各自治体によって違うんですね。予算をとってやっていただいているところ、やっていただいていないところ、違います。現時点で、熊本県で共通なのは、バス、電車の事業者さんが自主返納した方、半額で乗れるというのは、高速バス等は除きますけれども、県内一円でそういった乗れるような取り組みは事業者さんのほうでいただいているところですが、あとは、プラスの特典と言いますか、支援策というのは各自治体によりまばらと。ただ、自主返納の促進、自主返納制度の周知を我々も進めていっているところではあるんですが、これがまた難しい問題でありまして。東京と熊本、熊本と荒尾では公共交通網の整備の度合いが全く違うのでございます。東京都では通用するお話が、熊本では通用しない。熊本で通用するお話も荒尾では通用しないと。だから、その土地に応じて、いろんな支援策を考え出していけないといけないかなと思っております。また、どうしても、ご高齢の方、身体機能の衰えというのは個人差がございまして。同じ例えば75歳、80歳でもマラソンを走っている元気な方もおられれば、病気をされている方もおられますし、その衰えの程度というのはさまざまであります。また、そのご高齢の方を取り巻く家族環境というのも一概には言えません。お近くに息子さん、お孫さんがおられる方、おひとりで住まわれている方、いろんなライフスタイルというのが違いますので、一概に返納しなさい、返納しなさいとだけ押し進めていっても、その方の生活が今後成り立っていないということもありますので、返納された後の生活のフォローまで考えていけないといけないのかなと。これはもちろん福祉のほうと連携をとっていかなければならないというところでございまして、どうしても、農業をされているとか、お仕事の関係で返

納したくても返納できないご高齢の方もおられると思います。全然、バスがないところにお住まいの方とかですね。そういった方には、我々はセイフティサポートカーという、いろいろ各社出てます。セイフティサポートカー。踏み間違い防止機能がついていたり、自動ブレーキがついていたり、各社いろんな呼び方はさまざまですけども、そういったサポートカーへの乗りかえを、どうしても返納が難しい方については、あくまで現時点では自動運転にはなってませんけれども、そういった安全な機能がついた車に乗りかえてはいかがでしょうかというようなお薦めもしているところでもあります。踏み間違い防止は今、軽トラックにもついている時代でありますので。梅沢富雄さんがCMをされてますけども、軽ワゴン車にもついている時代ですので、踏み間違い防止のそういった機能がついていれば、そういった事故も減らせるのではないかなということで、そういうことも合わせて、警察署としては進めていっているところでございます。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

そのほか、中山先生。

【中山長洲中学校長】 長洲中学校の自転車通学の現状をお伝えしていたほうがいいかなと思って。5月連休明けから1年生も全て、申請した生徒については、自転車通学を許可しています。169名のうちの130名が今、申請をして、乗ってきていると。雨の日は当然少なくなりますけども、天気がいい日はほとんど自転車で来ますけども。その中で、いろいろ心配することがいくつか出てきました。保護者については、毎日、朝か夕方、見守りをしていただくことになりました。それと、青パトの講習会も昨年実施して、長洲中だけはしてなかったんですよね。それで、していただくようになりました。とても、自転車通学の検討委員さんたちが動いて、そういう環境面はしていただきました。それと、安全マップというのを手作りで作っていただいて、ここはこういうふうな乗り方で行こうね、ここを通ろうねと、通学路についても全て、自転車検討委員さんたちがされました。そのときに、やはり通学路がとても狭くて、うちの周辺がですね、一斉に生徒を帰したときに、どうしても苦情があって、広がっていくということで、通学路をどこを通すか、これがまたいろいろ思案しながらしていかんかなと。それと、長洲バイパスができてとても変わりました、環境が。長洲中学校に右折して入るとき、ほとんど待たなくていいですね。交通量もかなり減ってきて、通学路ももう一回見直しをして、検討したいなと思ってるんですけども。その中でも、どうしても街灯がちょっと少ないとか、道幅が狭いとか、信号機が長くて生徒がそこを渡りたくないという箇所がありますね。大宝ラーメンの先の上り坂

の信号をいったところですね。そのあたりも、よければ、行政の方と警察の方も一緒に現場を見て検討するような場があると、私たちも、どういふうに生徒がこういうふうここに立って自転車通学で行ってますよと。ちょっと狭いとか、暗いとか、ぜひそういう場を設けてもらおうと、もう一回、自転車通学で今までと違う通学路を私たちも模索していかなければならないので、そのあたりも改善できればいいかなというふうには思っているところです。ただ、おかげさまで、一番は不審者対策で自転車通学スタートしまして、ほとんど声かけはありません。子どもたちもそういう事例はありません。ただ、心配は交通事故のほうで、安全に安心して通れるような通学路と、生徒の乗り方についても十分指導をしていきたいと、今後も続けて安心して通学できるような環境整備は今後もやっていきたいなというふうに思っているところで、今のところ順調に、おかげさまでいっているということ報告しておきます。

また、隈部議員さんから出たネット犯罪については、私もとても心配しています。よければ、この会議で何か中心的にさせていただくと。長洲町ルールというのがあるんですが、それを保護者の方が守っていないというのが、当然のようになっていてですね、半分そういうルールがあるけれども守れていないというのが現状で、おそらく子どもを安心して任せている。でも、子どもは自分の部屋に閉じこもって、24時間スマホを扱える状態になっている。そこに、家庭の教育力のとても低いんじゃないかなという心配はあるとですよ。私たちもいろいろネット犯罪に対しての講演会とかNTTから呼んでするんですけども、なかなか浸透していかんとですよ、そのあたりは。やはり、保護者の意識が私はとても低いと思うとですよ。ぜひ、そこはPTAと連携して取り組んでいくか、もう少しルールを厳しくするか、そのあたりをほんとうにしていかないと、これ、とても大きな問題で、これはもううちの学校だけじゃなくて、全国の大きな課題かなというふうに思っています。そのあたりをぜひ検討していただきたい。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

今後、そのネット犯罪については、この総合教育会議でもテーマとして取り上げ、協議をやっていきたいと思えます。

また、自転車の事故がないように、それはお互いの情報を町と学校ときちんと共有して、情報の交換を進めながら、一つずつ改善していきたいと思えますので、よろしくお願いたします。

それでは、そのほかございませんでしょうか。

時間がそろそろまいりますので、一応この辺で今日の会議は終わりたいと思います。

事務局にお返しいたします。

【司会（石本総務課長補佐）】 それでは、次第4であります、その他について事務局から連絡をお願いします。

【事務局（甲田総務課担当）】 事務局からの令和元年度の第2回総合教育会議の日程と協議・調整事項についてご連絡いたします。

日程につきましては、8月または9月を予定しておりまして、協議・調整事項については検討中でございます。また、教育委員会からも協議すべき事項などがございましたら、ご提案いただきますようお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

【司会（石本総務課長補佐）】 事務局からの説明がありましたが、説明について、また、その他について何かございますでしょうか。

（「なし」の声あり）

【司会（石本総務課長補佐）】 それでは、ないようですから、本日の会議は以上で終了となります。

これで、令和元年度第1回長洲町総合教育会議を閉会いたします。皆様、どうもありがとうございました。

以上、会議録の顛末を記録し、相違ないことを証するため、長洲町総合教育会議運営規約第6条第3項の規定に基づき、ここに署名する。

町 長

教育長